

第6回九州保育三団体研究大会 分科会

【カテゴリー3】多様な連携と協働をつくる

子育て不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的な取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。

◎ 第5分科会 子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク

子どものより良い育ちに向け、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえるために重要です。平成27年4月施行の新制度では、各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画」等に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実に向けては、保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築も一層大切になっています。また、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待防止、病児・病後児保育など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関との連携・協働をもって進めるべき取り組みが数多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけて多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

○意見発表者 大分県・沖縄県・福岡県

○助言者 第一幼児教育短期大学附属鹿児島第一幼稚園 園長代理 西元 道子 氏

○定員 135名

○会場 鹿児島サンロイヤルホテル 2階 開聞